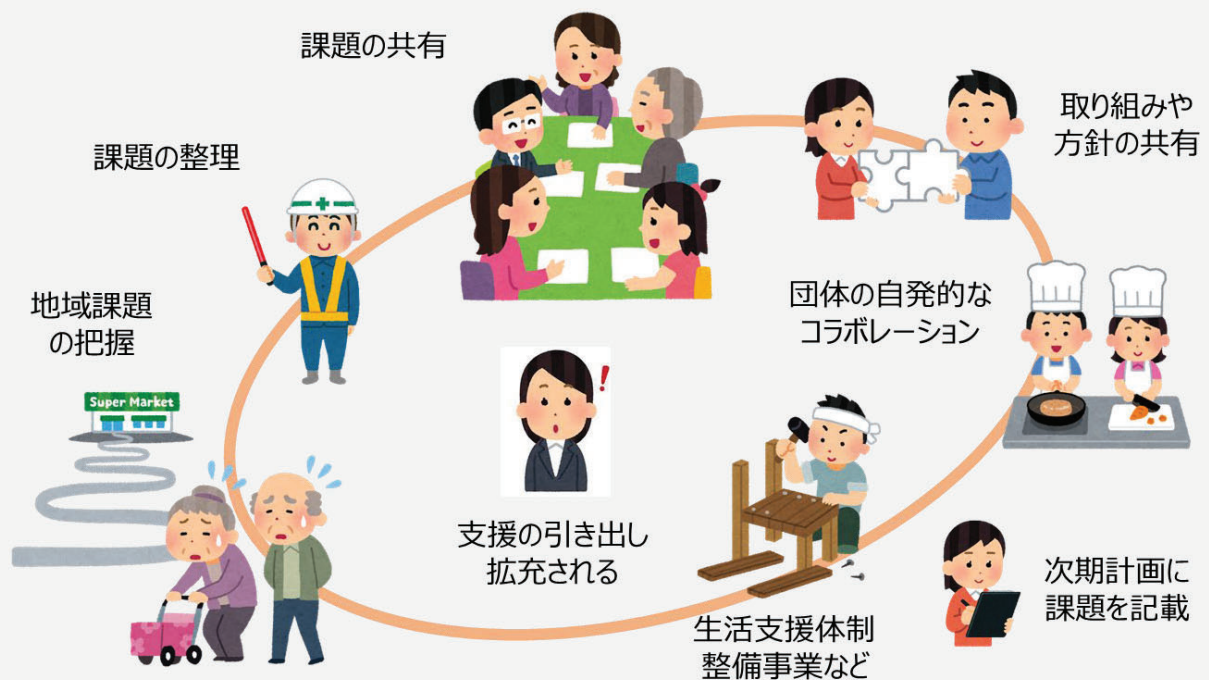


令和5年度第2回 市川市地域ケア推進会議

～高齢者の“居場所”について～

令和5年10月11日水曜日
14時から15時30分予定
全日警ホール1階ホール

本市の地域ケア推進会議で目指すもの



地域ケア推進会議 = “第1層協議体”

何か良い方法
ないかな？

みなさんは
“応援団”の
一員です！



こんな
方法が
あるよ

こんな
場所が
あるよ

こんな
人が
いるよ

本日の次第

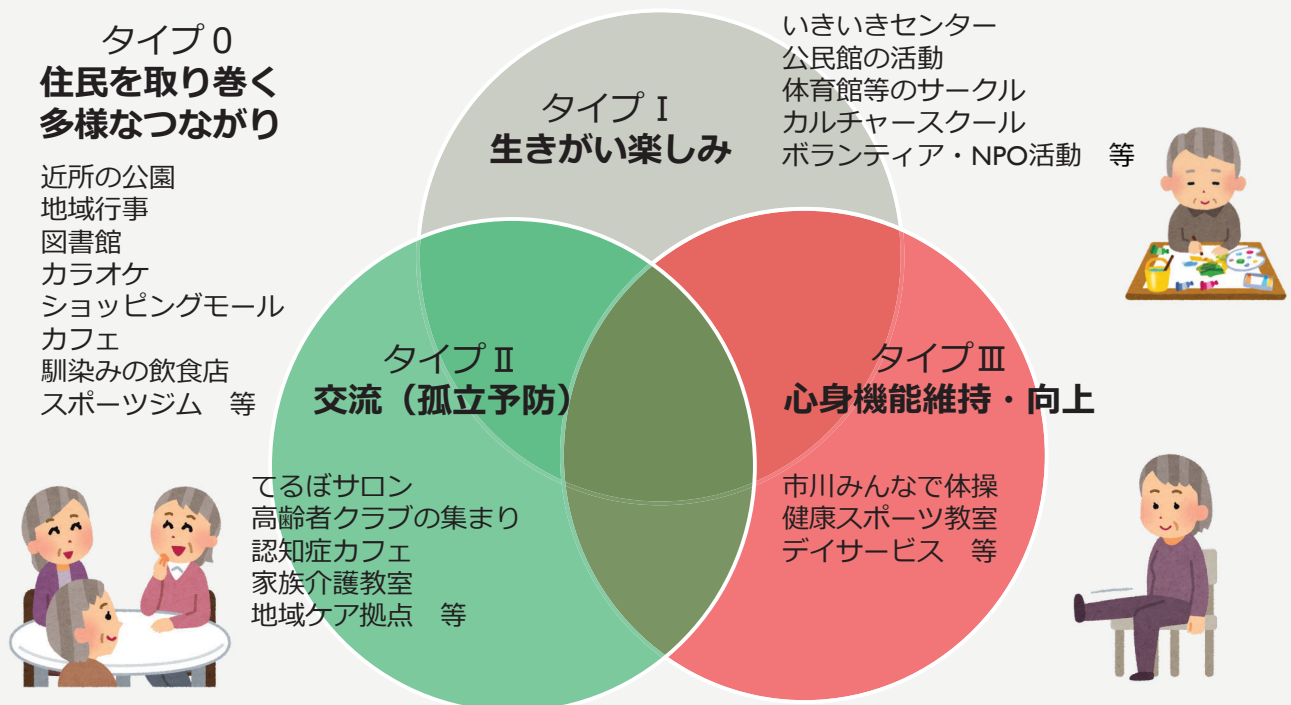
- (1) 前回会議の振り返り
- (2) 各団体からの「居場所」に関するご提案
- (3) 高齢者サポートセンターとの意見交換
- (4) 次年度に向けての方針（案）
- (5) その他

本日の次第

- (1) 前回会議の振り返り
- (2) 各団体からの「居場所」に関するご提案
- (3) 高齢者サポートセンターとの意見交換
- (4) 次年度に向けての方針（案）
- (5) その他

(1) 前回会議の振り返り

市川市には多様な“居場所”がある



(1) 前回会議の振り返り

“居場所”に対する方針（案）

本人の興味・関心に応じた“居場所”はきっとある。
まずはアクセス（つなぎ）を向上することが重要！

【課題】

- 居場所を知らない
- 行くのが困難
- きっかけがない

【方法】

- ➡ 情報・案内
- ➡ 移動の支援、付添い
- ➡ 参加の声かけ、お誘い



本日の次第

- (1) 前回会議の振り返り
- (2) 各団体からの「居場所」に関するご提案
- (3) 高齢者サポートセンターとの意見交換
- (4) 次年度に向けての方針（案）
- (5) その他

(2)各団体からの居場所に関するご提案

繋がりたいと思っている方の興味・関心に応じた居場所へのアクセス(つなぎ)を向上させるため、所属団体で“取り組んでいること”や“できそうなこと”などをご提案いただきました。

①居場所の情報や案内

②移動の支援

③参加のきっかけ

お忙しい中ご提案をいただきまして
誠にありがとうございました

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市シルバー人材センター

【現在の取り組み】

- パンフレットやチラシを公共施設に配置、イベント・会合で配布
- 大型ビジョン広告や商業施設でのポスター掲示、地域新聞やコミュニティバスに広告を掲載
- ホームページを一新し、検索しやすくし、オンライン入会を導入
- 地域別に月4～5回の入会説明会を実施
- 会員による口コミ活動
- 女性限定の入会説明会
- 就業を通じ、会員から依頼者への声かけ

【できそうなこと】

- 仕事を辞め退会した方に居場所の情報提供
- 市民向けの講習会の開催
- 団体への出張入会説明会の実施

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市社会福祉協議会

【現在の取り組み】

○重層的支援体制整備事業(市川市よりそい支援事業)の開始に伴い、「地域づくりに向けた支援」のため、コミュニティソーシャルワーカー4名を配置

【今後進めていくこと】

- 休止しているサロンの再開支援
- 既存サロン充実のための支援(さらに参加しやすいように)
- 新規サロンの立上げ支援
- 主体的に参加できる場の提供(ボランティア活動への参加支援)
- ボランティアの育成・講座の開催

(2)各団体からの居場所に関するご提案

生活協同組合コープみらい

【現在の取り組み】

- 公式HPや「千葉1区ブロックニュース」にて、「みらいひろば(市川市内には3会場)」のご案内
- 様々な施設で「みらいひろばリーフレット」や「ブロックニュース」を配架
- くらしのたすけあいの会(組合員同士の援助活動)にて、病院や買い物等の付添い

【できそうなこと】

- 「支え合いネット」への登録
- 各事業、組合員活動の中でチラシ・冊子の配布など
- 「移動支援を行っている団体」に対し、コープみらい財団の助成金事業で応援
- 生協の事業と活動のなかで、対象の方に必要な情報を提供、声掛け

○市内の子育てひろばや、高齢者サロン、認知症カフェ、子ども食堂、フリースクールなど多様な居場所の情報がまとまっている冊子やWEBサイトがあればよい。

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市リハビリテーション協議会

【できそうなこと】

- ・住民主体の通いの場やはつらつシニア応援講座の参加者に促す
- ・市川市リハビリ協議会のパンフレットの配布
- ・リハビリ協議会のホームページから、リハビリ職のいる事業所マップの案内
- ・失語症カフェの案内と実施
- ・車いすの使い方研修の実施
- ・移動支援に関する啓発・情報提供
- ・イベント時のリハビリブース(心身機能チェックなど)の実施
- ・住民主体の通いの場、はつらつシニア応援講座などの実施と情報提供

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市歯科医師会

○目的が歯科治療に限定されてしまうため、居場所に関する提案は難しいが、「自宅という居場所」に歯科医師が訪問診療に伺い、他愛もない会話や第三者がその居場所に存在することで、一時的でもいつもとは違う雰囲気、居場所になるのではないかと。

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市薬剤師会

【現在の取り組み】

- 地域の方から個別に依頼があった地域イベントのご案内の掲示
- 薬用植物園を見学するバスツアーを主催（地域の方との交流）
- 自宅への配薬は居宅療養管理指導等の契約を結ぶことで可能
- 在宅医療推進は薬剤師会として取り組んでいる

【できそうなこと】

- 薬剤師会から当該地域の会員薬局にお出かけ情報等の掲示のお願い

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市福祉公社

【できそうなこと】

- 自費サービスになると思いますが、移動支援はできるかもしれない。
- 移動支援をするには、各事業所が一律料金でできるような仕組みが必要だと思う。
- 居場所の方たちが、つながりたいと思っている方のお宅に訪問し、案内等ができればよい。

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川商工会議所

○コロナ禍が落ち着いてきて、高齢者の外出意欲も戻ってきましたが、足腰が悪くなった方を誘っても、「迷惑をかけるから」と言って、なかなか連れ出せない。

○出て来られなくなった人の中には、何回も同じことを言ったりして、認知症のはじまりが疑われる方もいるが、ご家族が認識しているかどうかもわからず、周囲はどう対応していいかわからない。

○(委員自身をご家族の認知症に気づいたときの経験から)ひとり暮らしの方の認知症に早く気づき、治療につなげる必要がある。

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市自治会連合協議会

【現在の取り組み】

○各自治(町)会で市からの情報を回覧・掲示

【できそうなこと】

○各自治(町)会で「きょういくところ」など、居場所の情報を回覧・掲示

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市介護保険事業者連絡協議会

【現在の取り組み】

- 通所、訪問、施設でのサービスとしての居場所の情報や案内の発信
- 各サービスの車での送迎
- 介護付きタクシーの情報提供

【できそうなこと】

- 居場所の情報を知ることができれば、関わる高齢者からの相談を受止めやすくなる。

(2)各団体からの居場所に関するご提案

市川市介護支援専門員協議会

【現在の取り組み】

- 高齢者サポートセンターに情報(パンフレット)を配架
- 移動支援の情報提供、介護保険サービスでの移動支援及び自費タクシーの予約
- 障害手帳を持っている場合の割引、タクシー券、寝台車利用時の助成などの利用

【できそうなこと】

- 団体のホームページに掲載し情報提供
- 高齢者サポートセンターでの声掛けや案内、居宅介護支援事業所に声掛けがあれば、介護支援専門員から案内は可能

本日の次第

- (1) 前回会議の振り返り
- (2) 各団体からの「居場所」に関するご提案
- (3) 高齢者サポートセンターとの意見交換
- (4) 次年度に向けての方針（案）
- (5) その他

(3) 高齢者サポートセンターとの意見交換

高齢者サポートセンターよりご意見いただきました。

“居場所”へのアクセス(つなぎ)について、

“困っていること”

“共有したいこと”

“お願いしたいこと”

お忙しい中ご意見をいただきまして
誠にありがとうございました

高齢者居場所ポータルセンターに関するご意見からのまとめ

居場所に関する課題		ご意見数
居場所について	数や内容について	20
	場所の問題	22
	情報不足	9
	周知不足	18
	担い手不足	8
	移動支援	21
	きっかけ	3
	市への意見	14
	認知症の人への支援	5
	団体へのお願い	3
	その他	8

1. 「いきいき健康教室」について

- (国分) いきいき健康教室に通っていた、**ああいうのがあれば通いたい**という話は今も出ている。
- (宮久保・下貝塚) いきいき健康教室なき後、**小地区で継続的に通える場が減り、活動をやめた人、介護サービスに流れた人が多くいた。**(ふらっと立ち寄れる場が無い)
- (信篤・二俣) いきいき健康教室に通いたいという話は今も聞かれている。

2. サロンについて

- (市川第二) サークル活動やサロンは誰でも参加できるとの触れ込みであるが、初めて行った方の中には「入りにくい雰囲気だった」と感じたり、メンバーが固定されていると感じたとの声があった。また、近所でこういうことをしている所があると知らなかったとの声もあった。
- (国府台) 現在も地域にあるサロンを知らない高齢も多い。男性が参加したいと思う内容が少ないせいで、男性高齢者は興味がないのでは。
- (国府台) 担当地区の団地住民から、「住民同士の交流の場や機会がない」との声があり、社協と共に「サロン立ち上げ説明会」を開催したが、立ち上げに至らなかった。一方、町内会館での麻雀や囲碁など趣味の会は発足・継続し、参加数も増加している。高齢者がやりたいことは何なのか、から考える必要があると思う。

2. サロンについて

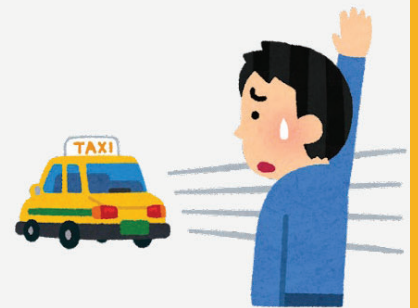
- (国府台) 地域にサロンが元々少ない上にコロナ禍で2つサロンが終了した。これまで閉じこもり予防に対して、デイサービス以外にサロンを紹介することも多かった。自分で通えるサロンが少ないと介護保険や総合事業へつなぐ流れになりがち。
- (市川第二) デイサービスの希望があったが認定に時間がかかるため「きょういくところ」を見せると、コロナ前に通っていた教室があった。コロナで休みだったが再開したことを知らなかったとの事。同様に再開を知らない人がいるかもしれないと感じた。
- (市川第一) サロン等の立ち上げ支援をするとしても、担い手として積極的に参加する方はほとんどいない。
- (大柏) 既存のサロンから体操の講師依頼があった際に、地域密着型デイサービスへ指導者の派遣をお願いし、以後直接やり取りをしてもらう様に調整した。そうしたデイサービス側の地域貢献に対して評価される仕組みがあるとよいと思う。

3. 「居場所」への移動支援について

①車での送迎

- ・（曾谷）知人が車で送迎できなくはないが、万一事故（乗降時に本人が転倒し骨折、ドアに指をはさんで怪我をしたなど）があった際、**手間賃等好意では補いきれない仕組み作り**
- ・（菅野・須和田）近頃「**タクシーが中々つかまらない**」と市民より聞くことが増えた。
- ・（八幡）車等の送迎の移動手段が必要。

※その他、意見多数あり



3. 「居場所」への移動支援について

②付き添いの送迎

- ・（曾谷）認知症の方の送迎（**徒歩は可能なADLだが、道が分からなくなるため送迎が必要**）
- ・（市川第二）地域活動に初めて行く人もなじめるように、**地域活動サポーターのような人材**を育成出来たらいい。
- ・（八幡）居場所があっても、歩行が難しかったり、認知機能が低下していて、ひとりで行くことができない方々がいる。**居場所までの手段が必要**。土地勘がなく、家族の支援が難しくひとりで行けない。初回だけでも同行して下さる方がいるとありがたい。

4. 高齢者サポートセンター自身の関わり方について

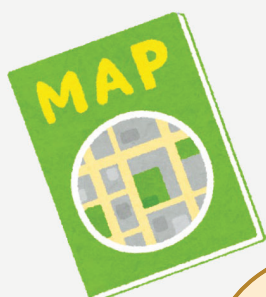
- (国府台) 高サポ職員が他のエリアの居場所(活動の場)をつなげにくいのは、その内容や雰囲気知らないせいだと思う。とは言っても高サポ職員は居場所の把握に割く時間は無い。対象者と居場所のマッチングはSCの業務が行なうのではと期待している。
- (国分) 高サポが情報をキャッチしていないと、そもそも情報提供ができない。相談時に情報提供するために、配布資料にのっていない情報や担当地域外も含めた情報が高サポ用の情報としてまとまっていることが必要。

4. 高齢者サポートセンター自身の関わり方について

- (大柏) 既存の居場所の詳細や特徴を高サポで把握しきれていないため、きめ細やかなつながりが出来ていない。またさらに公民館でのサークル活動等まで居場の紹介場所を広げると情報が少ない。情報の集約やコーディネート機能、情報発信の媒体の多様性が必要だと感じる。
- (宮久保・下貝塚) 個別のケースで1人ずつつながりを完成させるまでにはそれなりの時間と労力を要する支援であることを理解してほしい。介護サービスにつながればよいのではなく、地域で地域住民として役割や交流がもてるのが重要だと考えている。

本日の次第

- (1) 前回会議の振り返り
- (2) 各団体からの「居場所」に関するご提案
- (3) 高齢者サポートセンターとの意見交換
- (4) 次年度に向けての方針（案）
- (5) その他



**圏域ごとの
「居場所マップ」
の作成**



新しい居場所づくりに向けて

- サイゼリヤでの認知症カフェ
- ファミリーマート店舗における認知症の方の社会参加や出張相談会
- 飲食店の協力によるこども食堂
- スーパーマーケットや薬局の片隅での体操教室 など

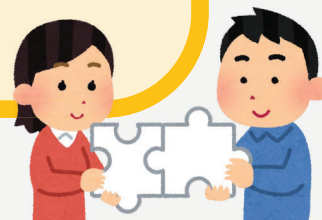


新しい居場所づくりに向けて

例えば...

高齢者は、“必須の場所”
(病院や薬局、スーパー等) には
どのようにしてでも行くので、
そこに「居場所」があれば、
移動の問題は解消されるのではないか。

(ある高齢者サポートセンターの意見)



ご出席いただき
ありがとうございました

今年度の「地域ケア推進会議」は終了です。
来年度の会議でお会いしましょう。